



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 イヌイ倉庫株式会社

コード番号 9308 URL <http://www.inui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 乾 康之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員
コーポレートスタッフ部門担当

(氏名) 小林 雅史

TEL 03-5548-8613

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,697	△2.6	324	△22.1	289	0.0	190	—
25年3月期第2四半期	3,796	△10.3	416	△12.4	289	△28.8	△265	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 304百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △320百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	11.93	—
25年3月期第2四半期	△16.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	41,284	16,993	41.2	1,064.89
25年3月期	40,579	16,833	41.5	1,054.83

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 16,993百万円 25年3月期 16,833百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
26年3月期	—	9.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,224	△2.9	206	△76.6	113	△82.9	82	△71.4	5.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	18,200,000 株	25年3月期	18,200,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	2,241,764 株	25年3月期	2,241,580 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	15,958,296 株	25年3月期2Q	15,958,420 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想(平成26年3月期の連結業績予想)については、平成25年8月5日公表の数値から修正しております。詳細については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、物流業界においては、貨物保管残高及び貨物取扱量は前年同期並の低い水準で推移しましたが、賃貸物流施設の空室率は、堅調な需要と逼迫した需給バランスが継続し、高稼働で推移いたしました。

また、不動産業界においては、都心部における賃貸オフィスビル市況は、空室率の緩やかな改善傾向が続くものの、賃料水準は依然として低調に推移いたしました。賃貸マンション市況については、空室率の改善傾向が続き、賃料水準にも回復の兆しが見られるなど、前年同期をやや上回る水準で推移いたしました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業収益につきましては、前年同期比99百万円減収(△2.6%)の3,697百万円となりました。また、営業利益は前年同期比91百万円減益(△22.1%)の324百万円、経常利益は前年同期比0百万円増益(+0.0%)の289百万円、四半期純利益は前年同期比456百万円増益の190百万円となりました。

当社グループのセグメント別の業績は、次の通りであります。

① 物流事業

物流事業におきましては、営業収益は、神戸みなと倉庫(賃貸物流施設)の安定稼働に伴う収益寄与があったものの、主として前年度上期に拠点を開鎖した影響により、前年同期比99百万円減収(△5.8%)の1,618百万円となりました。セグメント利益は、業務効率化の推進に伴う費用削減効果があったものの、持分法適用関連会社への投資損失を計上したことにより、前年同期比75百万円減益(△69.3%)の33百万円となりました。

② 不動産事業

不動産事業におきましては、営業収益は、主に賃貸マンションの空室率改善に伴う収益寄与により、前年同期比46百万円増収(+2.4%)の2,006百万円となりました。セグメント利益は、所有地再開発計画(「月島荘～企業寮をShareするという試み～」(東京都中央区)／本年9月27日付「竣工、および参加企業と共住環境の運営テスト開始のお知らせ」)の竣工に伴う費用増加のため、前年同期比45百万円減益(△6.4%)の669百万円となりました。

③ その他

前年度下期に株式会社東京エースボウル(連結子会社)が運営するボウリング場の一部(静岡県浜松市)を開鎖したことにより、営業収益は前年同期比45百万円減収(△38.7%)の72百万円、セグメント損益は前年同期比2百万円増益の3百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、現金及び預金の減少、「月島荘」竣工に伴う有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末比704百万円増の41,284百万円となりました。負債は、「月島荘」建設にかかる未払金の増加等により、前連結会計年度末比544百万円増の24,291百万円となりました。純資産は、その他有価証券評価差額金および利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末比160百万円増の16,993百万円となりました。

この結果、自己資本比率は41.5%から41.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して467百万円減少し、1,872百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果として得られた資金は、1,037百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益393百万円、非資金損益項目である減価償却費522百万円によるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果として得られた資金は、152百万円となりました。これは主として、投資有価証券の売却によるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果として使用した資金は、1,657百万円となりました。これは主として、長期借入金の返済によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、平成25年8月5日に公表した平成26年3月期の業績予想を変更しております。詳細は、本日付開示「第2四半期連結業績予想値と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,339	1,872
営業未収金	479	397
その他	314	226
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	3,131	2,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,563	11,265
土地	1,002	1,002
信託建物及び信託構築物（純額）	5,302	5,170
信託土地	3,935	3,935
建設仮勘定	3,766	5,635
その他（純額）	311	358
有形固定資産合計	25,882	27,368
無形固定資産		
投資その他の資産	61	112
投資有価証券	10,777	10,570
その他	727	738
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	11,503	11,308
固定資産合計	37,448	38,789
資産合計	40,579	41,284

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	303	421
短期借入金	3,430	3,330
1年内返済予定の長期借入金	2,140	2,130
未払法人税等	27	44
賞与引当金	63	68
未払金	129	1,943
その他	391	390
流動負債合計	6,485	8,330
固定負債		
長期借入金	13,767	12,363
繰延税金負債	435	603
退職給付引当金	84	88
受入保証金	1,833	1,884
長期前受収益	649	599
その他	490	422
固定負債合計	17,260	15,961
負債合計	23,746	24,291
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,767	2,767
資本剰余金	2,699	2,699
利益剰余金	11,232	11,279
自己株式	△1,218	△1,218
株主資本合計	15,481	15,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,351	1,476
繰延ヘッジ損益	—	△10
その他の包括利益累計額合計	1,351	1,465
純資産合計	16,833	16,993
負債純資産合計	40,579	41,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業収益	3,796	3,697
営業原価	3,035	3,003
営業総利益	761	693
販売費及び一般管理費	344	369
営業利益	416	324
営業外収益		
受取配当金	43	47
その他	41	38
営業外収益合計	85	85
営業外費用		
支払利息	103	111
シンジケートローン手数料	90	—
その他	19	9
営業外費用合計	213	121
経常利益	289	289
特別利益		
保険解約返戻金	20	—
投資有価証券売却益	—	107
その他	0	—
特別利益合計	20	107
特別損失		
投資有価証券評価損	319	—
固定資産除却損	33	1
割増退職金	134	—
減損損失	172	—
投資有価証券売却損	—	0
固定資産撤去費用引当金繰入額	34	—
その他	33	—
特別損失合計	728	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△418	393
法人税、住民税及び事業税	13	45
法人税等調整額	△165	157
法人税等合計	△152	203
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△265	190

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△265	190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	117
繰延ヘッジ損益	—	△10
持分法適用会社に対する持分相当額	0	6
その他の包括利益合計	△54	113
四半期包括利益	△320	304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△320	304
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△418	393
減価償却費	597	522
減損損失	172	—
固定資産撤去費用引当金の増減額(△は減少)	34	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△47	△53
支払利息	103	111
シンジケートローン手数料	90	—
持分法による投資損益(△は益)	18	147
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△106
投資有価証券評価損益(△は益)	319	—
固定資産除却損	33	1
固定資産撤去費用	33	—
割増退職金	134	—
保険解約損益(△は益)	△20	—
売上債権の増減額(△は増加)	21	82
仕入債務の増減額(△は減少)	59	117
前払費用の増減額(△は増加)	28	△3
未払費用の増減額(△は減少)	8	18
前受収益の増減額(△は減少)	△8	△10
未払又は未収消費税等の増減額	1	4
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△53	50
長期前受収益の増減額(△は減少)	—	△50
未払金の増減額(△は減少)	△34	△121
その他	9	△5
小計	1,090	1,110
利息及び配当金の受取額	47	52
利息の支払額	△101	△104
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	118	△20
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,155	1,037
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△2,140	△74
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	235
関係会社出資金の払込による支出	—	△10
保険積立金の解約による収入	73	—
その他	△0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,067	152
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△200	△100
長期借入れによる収入	2,510	300
長期借入金の返済による支出	△1,019	△1,713
配当金の支払額	△143	△143
その他	△2	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,144	△1,657
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	232	△467
現金及び現金同等物の期首残高	1,661	2,339
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,893	1,872

- (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流 事業	不動産 事業	計				
営業収益							
外部顧客に対する 営業収益	1,718	1,960	3,679	117	3,796	—	3,796
セグメント間の営業収益 又は振替高	0	51	51	—	51	△51	—
計	1,719	2,011	3,730	117	3,848	△51	3,796
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	109	715	824	△5	818	△402	416

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ボウリング場の運営事業であります。

2. セグメント利益の調整額△402百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△402百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

物流事業において、固定資産について減損損失を計上いたしました。この結果、第2四半期連結累計期間での物流事業の資産の減少は6百万円となっております。

不動産事業において、固定資産について減損損失を計上いたしました。この結果、第2四半期連結累計期間での不動産事業の資産の減少は166百万円となっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流 事業	不動産 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,618	2,006	3,625	72	3,697	—	3,697
セグメント間の営業収益 又は振替高	0	30	30	—	30	△30	—
計	1,619	2,036	3,655	72	3,727	△30	3,697
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	33	669	703	△3	699	△374	324

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ボウリング場の運営事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△374百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△374百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。